



# 三溪園

横浜に秋を聴く。

## 菊花展

2020年10/26(月)ー11/23(月・祝)

## 紅葉の古建築公開

重要文化財 聴秋閣・春草廬

2020年11/21(土)ー12/6(日)



国指定名勝

# 三溪園

SANKEIEN GARDEN

横浜市中区本牧三之谷58-1

TEL045-621-0634・5 ※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。

<https://www.sankeien.or.jp>

58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City

※催しは不測の事由により、中止または内容を変更する場合があります。



# 菊花展 Chrysanthemum Exhibition

10月26日(月)～11月23日(月・祝) 9:00-16:00

共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会

日本の秋を代表する花、菊花約500点を展示。大菊や懸崖・小菊盆栽などレパートリー豊かな菊花の世界が楽しめます。特に江戸時代から各地で改良、伝えられてきた古典菊は、珍しく必見です。



## 苗の販売

期間：菊花展開催期間中  
10:00～16:00

※売り切れの場合はご容赦ください。

## 菊の生け込み

横浜を拠点に活躍するフラワーデザイナー五十嵐道子氏が、山里の雰囲気漂う古民家「旧矢筈原家住宅(合掌造り)」に菊を生け込み、室内を優しく彩ります。

11月7日(土)～11月23日(月) 会場：旧矢筈原家住宅

協力：五十嵐道子 <https://kurumi.jp.com>



# 紅葉の古建築公開 一聴秋閣・春草廬(重要文化財2棟)

Historic Buildings Surrounded by Autumn Foliage Open to the Public – Choshukaku, Shunsouro

11月21日(土)～12月6日(日) 9:00-16:30

聴秋閣は二条城にあったとされ、将軍家光が春日局に下賜したとされる楼閣建築。春草廬は織田信長の弟・有楽作といわれる三畳台目の茶室。いずれも木々に囲まれ、紅葉の季節は一層美しく、瀟洒な佇まいをみせます。紅葉の中、風情たっぷりのひとときをお楽しみください。



## 重要文化財 聴秋閣 ちょうしゅうかく

建築：江戸時代初期 元和9(1623)年

移築：大正11(1922)年

徳川家光が将軍宣下を受けるにあたり上洛した際、京都二条城内に建てられたと伝えられ、のちに乳母の春日局(かすがのつばね)が所持したといわれる。三つの屋根がバランスよくまとめられた外観の形状から、かつては「三笠閣(みかさかく)」の名で呼ばれ、内部にも変化に富んだデザインが見られる。特に注目されるのは正面入口の部分で、奥の畳の間より一段低くした床面には正方形の木製タイルがL字状に敷きつめられ、天井の形もそれと対応する意匠となっている。この空間は、池や川沿いの水辺から直接舟で乗り着ける「舟入の間」の趣向を採ったものともいわれ、この建物が庭園の一面を飾るために建てられたものであったことがうかがえる。

※紅葉の古建築公開時期には、聴秋閣奥の遊歩道も開放します。

## 重要文化財 春草廬 しゅんそうろ

建築：小間 江戸時代／広間 三溪園へ移築後、増設

移築：大正11(1922)年

京都宇治の三室戸寺金蔵院(みむろとじこんぞういん)にあった茶室で、古くは「九窓亭(くそうてい)」と呼ばれ、織田信長の弟・有楽(うらく)の作ともいわれるが、確証はない。三室戸寺にあった当時は、伏見城の遺構と伝えられる客殿(園内の月華殿)に付属する茶室であったが、原三溪は移築に際しこれを切り離し、あらたに広間を付け加えて春草廬とした。

四畳に満たない小さな空間ながら、九つもの窓がリズミカルに配されているのがこの茶室のみどころ。露地には、南北朝時代の禅僧・夢窓疎石(むそうそせき)が使用したと伝えられるつくばい(小間側)や、東大寺にあったといわれる伽藍石(礎石)が配される。

## フォトコンテスト入賞作品展

Exhibition of Photograph Works Selected by the Contest

2021年1月1日(金・祝)～3月8日(月) 会場：三溪記念館

応募作品の中から選ばれた46点を展示します。

四季それぞれに表情を変える三溪園の魅力が作品をとおして味わえます。



## フォトコンテスト入賞作品展 会期変更について

新型コロナウイルス感染症の影響により、三溪園が4月8日(水)から5月31日(日)まで臨時休園したことに伴いまして、フォトコンテスト入賞作品展の会期を変更します。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについて

皆様安心してご来園いただけるように、次の点に取り組んでまいります。

- スタッフの検温、マスク着用、手洗い・うがいの徹底
- 入園料金等受け渡し時のトレイ使用
- 窓口スタッフとお客様との間に透明シート等の設置
- 施設内共用部分の清掃・消毒の強化

ご来園の際は、次の点にご協力をお願いいたします。

- 37.5℃以上の発熱や体調不良、風邪などの症状がある場合の入園の自粛
- 入園時の手指アルコール消毒や手洗いの励行
- 入園時や、観賞・散策・休憩時など、他のお客様との間隔の確保
- マスクの着用や咳エチケット、その他周りのお客様へのご配慮
- 連絡先登録カードへの記名または神奈川県LINEコロナお知らせシステムへの登録
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、お願いする事項が増えることがあります。

## 保存修理工事のお知らせ

重要文化財臨春閣、および旧東慶寺仏殿は、屋根の葺き替えや、耐震補強工事等の工事を行っております。

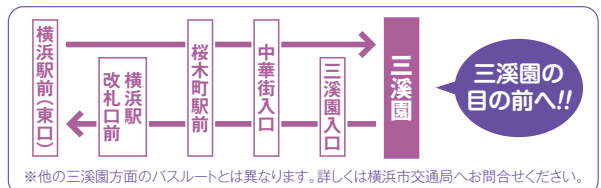
期間中は、仮屋根・足場等により、建物の観覧範囲が狭くなりますので、ご了承ください。

工事期間	臨春閣	2019年1月～2021年夏(予定)
	旧東慶寺仏殿	2020年9月～2023年(予定)

## ぶらり三溪園BUS

土曜日および休日に三溪園正門駐車場に発着する「ぶらり三溪園BUS」が7月23日(木・祝)から運行再開となりました。

再開に伴いルートが再編され、横浜駅から三溪園までは約35分、桜木町駅から三溪園までは約25分と、所要時間が約10分短縮されています。



## 国指定名勝 三溪園 SANKEIEN GARDEN

横浜市中区本牧三之谷58-1 TEL 045-621-0634・58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City

- 休園日=12/29～31 ● 開園時間=9:00～17:00(入園は16:30まで)
- 入園料=大人 ¥700(¥600)、子ども(小・中学生) ¥200(¥100) ※( )内の料金は、10名以上の団体料金
- 交 通=JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分／横浜駅東口からバスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分／桜木町駅からバスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分／みなとみらい線元町・中華街駅4番出口の「山下町(タワー入口)」からバスで15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分／横浜駅東口からぶらり三溪園BUSで35分、「三溪園」(駐車場内)下車、すぐ(土・日曜日、祝日限定)

公式HP



<https://www.sankeien.or.jp/>

Instagram



@sankeien\_garden

